

国際ロータリー第2530地区東北第一分區

福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通05之2 ギャラリーハイブ1F20号
tel:024-624-3793 fax:024-645-7878
総合室/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町4-30
tel:024-624-3811(fax) fax:024-624-0375
HPアドレス http://www.inakura.jp/rotary/index.html

2010年-2011年RITテーマ

地区役員: 黒羽好夫 会長 藤原 隆雄 副会長
副会長: 金子 義典 副会長 藤本 光一 副会長 橋本 英行 丹治 智幸 西谷 洋子 岡田 健児

第6回例会 平成22年8月18日(水) サンパレス福島
 ■メークアップ/29名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/38名 ■出席率/56.72%

本日のプログラム

1 開会点鐘	7 ゲストスピーチ
2 ロータリーソング (我らの生業)	地区会員増強委員長
3 四つのテスト	8 各委員会報告
4 来訪者紹介と会長挨拶	9 閉会点鐘
5 米山奨学生 奨学金授与	
6 幹事報告	

今月・来月のプログラム

8月25日(水) ゲストスピーチ (IAC 年次総会報告)	9月8日(水) ゲストスピーチ (新世代委員会委員長)
9月1日(水) 誕生日祝い ロータリーの友読みどころ	9月15日(水) 会員スピーチ
	9月22日(日) 会員スピーチ(㈱ハッピーケア 福田社長)

◆**会長挨拶**◆

黒羽 好夫 会長 「ロータリーの原点に帰ろう！」



本日は米山奨学生の唐 娜拉(トウ・ナラ)さんがお見えですが、皆様ご存じのとおり米山奨学金は皆様の奉仕の浄財によって運営されて

おります。当クラブの会員の皆様には今までたくさんのご協力をいただきました。その米山奨学金の当クラブの寄付金の累積額が2,131万円になりました。このたび、財団法人「ロータリー米山記念奨学会」の板橋理事長からご連絡がありまして、2000万円達成クラブとして推奨し、感謝状をいただくことになりました。これはいままでの会員の皆様のたゆまぬ奉仕の結果と言えます。当クラブでも今までたくさんの米山奨学生を受け入れてまいりましたが、

奨学生の皆様が日本と世界の国々の懸け橋となって世界平和と相互理解に貢献していただけるよう期待します。さて、8月は会員拡大月間になっております。本日は、第2530地区会員増強委員会の佐藤利男委員長においでいただいております。佐藤利男委員長は2007～2008年度の牧 公介パストガバナーの地区幹事としてその手腕を発揮され、第2530地区をけん引されました。また、現在も大橋廣治ガバナーの地区運営にも多くのご協力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。前回の例会でも申し上げましたが会員拡大は奉仕の実践のためには不可欠のものです。本日は佐藤利男委員長増強委員長から会員基盤の拡大と増強に対して多くの参考になるお話をお聞きできるものと期待しております。私も講和の中から大きなヒントをいただき今後の会員増強活動の支えとしていきたいと存じます。後ほどの講和を楽しみにしております。なお、先程の米山奨学金の累計表彰は第2530地区では当クラブと佐藤利男委員長の船引ロータリークラブの2クラブでございます。これも何かの縁と思います。

◆**米山奨学生 奨学金授与**◆



植木洋司米山奨学会委員長より唐 娜拉(トウ・ナラ)さんへ奨学金の授与が行われました。

◆**ゲストスピーチ**◆

佐藤 利男 地区会員増強委員長



当クラブ様には大橋ガバナーを始め、宍戸幹事、野地副幹事等々大先輩のいる中で、私の話は釈迦に説法といったところで、大橋年度の務めということでお付

き合いたいと思います。今年度、会員増強委員会にて、とにかく会員が減少しているという問題への対処として、各クラブを訪問しようということになりました。本来であればここには福島中央 RC の安藤正道会員と福島 21RC の上西皓信会員が担当の委員となっておりますが、同じ分区の会員であるということで私のほうに触りの部分の話だけでも、という次第だと思っています。アンケート関係のお話は後ほど担当委員よりあろうかと思っております。当クラブのダイユーエイトの浅倉会員には11年前に私が福島県石材事業協同組合の理事長を仰せつかっていたときに講演会の講師としてお願いをしてお話をさせていただきました。とても今では頼めるような存在ではありませんが、そういった大先輩にお世話になりました。先月、会員増強委員会が行われ、そこでもって議事録を作成していただきました。広報委員長の松崎弘昭会員にも議事録作成に携わっていただき御礼申し上げます。私の職業は石材業であります。今から30年前に独立をしまして、山の切り出し・採石業を始めました。工場を建てて加工・卸、環境石材の建築関係の石工事を承っております。会員増強の必要性としてクラブの奉仕活動、クラブ地区運営の2つがあるのではないかと考えております。RIももちろん含みます。会員増強の目標には魅力あるクラブ組織が持続され、地域社会に必要とされる組織を目指す、ということがあります。会員が減ると目指そうとするその活動そのものができなくなり、充実した社会奉仕活動が出来なくなる恐れがあります。クラブ最大の理念でもありますが数々の奉仕事業もある一定の会員数がないと活動そのものが極めて制限されてしまうことが危惧されます。

先月のセミナーでもお話ししたように、クラブ運営や地区運営資金への影響もあります。組織を運営するには一定の資金が必要でありまして、当地区では1997年の3,203人という会員数をピークに今年まで14年連続減少を続けています。これらに連動して地区資金の予算も毎年減少し、ピーク時の約半分になっています。地区の会員数は資料にもありますとおり、2010年4月末時点にて、日本のロータリーの会員数は91,875人、クラブ数2,303、国内34地区中当地区は19番目の会員数になります。当地区内でもほとんどのクラブが減少となっております。会員増強のポイントとしては普段皆さんが行っていることだと思いますが、クラブのトップであります会長・幹事、そして会員増強委員長の指導力と熱意で決まる、という風に言っても過言ではないと思います。入会のしおりやパンフレットの作成はある程度のクラブは出来ていると思います。1クラブでの会員は1業種1会員が基本とはなっておりますが、10年前から一つの職業分類につき5名まで、あるいは50名以上のクラブでは10%まで増やせるように拡大しています。女性会員の拡大については21年前より女性の入会が認められ、今では女性経営者の増加もありクラブ内の活性化の面からも積極的な推進をお願いしたいと思います。推薦会員リストアップとアプローチについては、クラブ内の掲示板等に計画書を作り、具体的な行動に出ることが増強につながると思います。何故会員が減少するかということはロータリーの友2008年8月号に詳しく書かれていますので保存されたもの等、皆さんで見ていただければと思います。拙い話ではありましたが、これで私の話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

◆**スマイリングボックス**◆

○本日は、佐藤利男地区会員増強委員長様には、ご講演ありがとうございました。黒羽好夫 会長
 ○佐藤利男地区会員増強委員長ご苦労さまです。大橋廣治ガバナー
 ○福島とうろろ流し今年も昨夜無事行っ事が出来ました。大野様とご協賛いただいた方々ありがとうございました。発興会会員 斎藤善重
 ○聖光ベスト4を祈念。須田敏光 会員
 ○新盆が終わりました。林克重 会員
 ○残暑お見舞い申し上げます。健康に留意し頑張りましょう。福田順一 会員
 ○7月のゴルフコンペ優勝!! ありがとうございます。吉田和義 会員

スマイル 37,000円 累計 279,701円
 財団・米山 50,000円 累計 281,000円

～ **私の職業の目的** ～ **吉田 和義 会員**

おいしい福島の農産物をお客様へお届けする。

―**編集後記**―

酷暑、極暑、猛暑を逃れて避暑の例会が一番(金子)